



# 学校だより

2月号

～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



## 上星川小学校見守り隊 神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり奨励賞受賞

副校長 廣田 晃士



本校の児童のため、登校時の見守り活動を毎日してくださっている「上星川小学校見守り隊」が、この度、神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり奨励賞を受賞しました。この奨励賞は、犯罪のない安全・安心まちづくりのモデルとなるような実践的な活動で、地域社会への貢献度が高いと認められる、県内で活動している個人または団体に贈られる賞で、見守り隊は神奈川県で受賞した2団体の中の一つに選ばれました。

上星川小学校見守り隊は、今から14年前の平成22年に発足して以来、毎朝の交通整理、児童に付き添い安全指導を行う登校時の見守り活動を継続して行うほか、学区を巡回し危険個所の確認や児童への声掛けなど、地域の防犯活動に積極的に取り組んできました。

見守り隊の方々は、毎朝、子どもたちが登校してくる時に、一人ひとりに声をかけ、あいさつをしてくださっています。子どもたちも顔見知りとなって、見守り隊の方々にあいさつを返します。「今日はまだあの子が来ていないね。」と、まだ登校していない子どものことを気遣い、しばらく待ってくださっていることもよくあります。毎日継続していることで、子どもの顔を覚え、学校安全に努めてくださっていることに、本当に感謝しかありません。



昨年度は、この見守り隊の方々のために、全校児童から見守り隊のマークのデザインを募集し、ジャケットを作成しました。デザインに選ばれたお子さん(現在中学校1年生)は、雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も見守ってくださっている見守り隊の方々に、感謝の気持ちを込めてこのデザインを考えたと話していました。まさに、どんな日であっても子どもたちの安全を守るという、14年間にもおよぶ熱い思いが、今回の受賞につながったと思いました。

代表の石幡さんは、授賞式の後に学校を訪問され、「今の私たちだけの活動ではなく、これまで見守り隊としてかかわってくださった先輩たちのおかげです。そして、これからも上星川小学校に通う子どもたちのために、元気で頑張っていきたいと思います。」と、話してくださいました。

毎日のことは「あたりまえ」になり、その有難みを忘れてしまうことがあります。しかし、その「あたりまえ」には歴史があり、日々継続することの大変さを理解することが、「有ることが難しい」「有難い」ことにつながるのではないかと思います。今回の見守り隊の受賞によって、子どもたち一人ひとりが地域の方々に支えられていることへの感謝の気持ちを再認識できる機会になればと思います。